

その他（富津市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業）

説明原稿

「富津市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」について、令和５年度活動報告と令和６年度、今年度の計画をご説明いたします。

本事業は、令和５年度から開始しました。実施の背景、目的等は、資料１ページから３ページまでの事業の概要、基本方針をご覧ください。７５歳以上の高齢者に対しても、保健師、栄養士等の医療専門職が、健診データ等をもとに、健康教育や保健指導等にて積極的に関わることで、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも自立した生活と社会参加ができるよう目指し、開始された事業です。

具体的な事業内容といたしましては、資料２ページの、３の（１）から（３）のとおり、事業の企画調整等の専門職が、医療や健診、介護等のデータ分析により健康課題を明確化します。庁内外の関係部署と連携、医師会等の医療関係者の皆様にご相談しながら、事業全体の企画・調整・分析を行います。

高齢者に対する支援内容につきましては、百歳体操等の「地域の通いの場」に出向き、健診結果等を活用した保健指導、健康教育等を行い、必要時、受診勧奨等を実施します。

それでは、令和5年度の活動報告をいたします。資料4ページの資料3をご覧ください。

高齢者に対する個別の支援（ハイリスクアプローチ）ですが管理栄養士による低栄養の予防で、9人中9人に実施しました。対象者の条件詳細は、上段の資料をご参照ください。

保健師によるその他の重症化予防は、Ⅱ度高血圧以上、または高血糖者で、未治療や治療中断者を対象とし、41人中24人に実施しました。24人以外の17人は、既に他の疾患等で治療中の方でした。41人は、高血圧が多かったのですが、多くは家庭血圧を測っており、その記録を持参し受診している方が多くみられました。これは、健診時に緊張等で血圧が高くなるという方です。

高血圧においては、家庭血圧の測定が重要となることから、次年度は、家庭血圧測定の推進、血圧の評価についての相談等を丁寧に行っていきます。

次に、5 ページの通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）いわゆる集団健康教育ですが、市内「いきいき百歳体操」の登録団体 37 団体中、34 団体に事業説明に伺い、29 団体に実施しました。詳細は下記のとおりです。

内容は、栄養士が「フレイル予防」をテーマに 22 会場に、年 2 回ずつ健康教育を実施しました。その他、歯科衛生士のオーラルフレイル予防の教室、保健師の正しい血圧の測り方の教室、医師の講演会の実施結果は資料のとおりです。

6 ページの事業評価としましては、参加率は 879 人の登録者数のうち、76.0%の延べ 668 人が参加してくださいました。その中で、健診受診及び受診予定の方は 274 人の 83.5%と健診受診の大事さを理解していただきました。人工透析や脳・心血管疾患など、生活習慣病が重症化して、医療費や介護給付費が高額となります。これらの課題が大きい地域が当市ですので、健診受診や医療の定期受診はとても大事なことになります。

また、高齢化していることで大事な教室になりますが、栄養士のフレイル予防の教室では、2 年目の今年度は、簡便に測定できる握力測定を取り入れ、多くの参加者自身が筋肉量の変化が確認できるよう考えています。

詳細は資料をご覧ください。

次に、令和6年度の事業計画ですが、8ページ、資料4をご覧ください。
波線の下線がついている項目が今年度、新規に取り組む内容です。

高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）は、今年度同様に、
前年度の健診結果から、管理栄養士は低栄養予防対象者を、保健師は、生活習慣病予防の高血圧、高血糖の未治療や治療中断の方に実施予定です。
通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）は、栄養士、歯科衛生士、保健師、それぞれが資料の通り計画しております。

以上ですが、今年度も医師会、歯科医師会、薬剤師会の先生方、そして、各地域包括支援センターの皆様にもご理解、ご協力いただき、ご相談しながら実施して参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。